

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3301043	ボランティア活動 C Volunteer C	伊藤亮	専門	1	選択	3 年集中後期

科目の概要

社会教育はあらゆる社会領域で生涯にわたって行われるものであるから、社会活動としてボランティア活動を行うことで、現代においてどのような社会教育のあり方が望ましいかを考えもらいたい。

学修内容	到達目標
① ボランティア活動に参加し、活動先の担当者と現場の人たちからの指導を受け、活動内容を記録する。 ② ボランティアの意義を理解し、日頃から活動の実践をすることで、社会教育のあり方と意義を理解することを目指す。	① 自らボランティア活動を探し、実践し、活動についての記録を行う。 ② ボランティア活動を通じてその意義を理解し、日頃からボランティアを実践することで、社会教育の在り方について考えることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	困難があっても目標を変更せず到達することができる。
考え方抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	整理した内容を、的確な文章で表現できる。
	傾聴力	人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	
	情報把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

教科書；特になし。

他科目との関連、資格との関連

(科目)社会教育主事科目

(資格)社会教育主事

学修上の助言	受講生とのルール
参加するボランティア活動の内容をあらかじめ学習し、活動先の担当者の期待に応えられるようにしておく。そして社会活動の場で教育し学習することの方法と意義を振り返ることで、身につけていくことが必要なことがある。	1、ボランティアを理解し実践する意志 2、社会教育の知識を応用する力 の 2 点を特に意識して活動に臨んでもらいたい。 なお、報告書・レポートの提出は 1 月末である。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
小テスト		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
レポート	50	①	✓
		②	✓
		③	
		④	
		⑤	
成果発表 (口頭・実技)		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
作品		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
社会人基礎力 (学修態度)	50	①	✓
		②	✓
		③	
		④	
		⑤	
その他		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
右記の内容に加えて、今後、どのような姿勢を持っていくとよいか、活動内容を踏まえて検討・考察することができる。	規定の回数のボランティア活動を実施すること、内容や反省を適切に記述することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
/	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書の作成と提出 ：活動先の選定 様々な活動先を調べ、条件にあつた活動先を選定すること。 選定条件 <ul style="list-style-type: none"> ①6日間以上の活動とする。 ②1日4時間以上の活動とする。 	実践的活動	ボランティア先を選定し、自ら働きかけてボランティア活動を行うことができる。	様々な活動先を調べ、その場所に合ったボランティアの方法等について考えておくこと。	120	主体性 実行力
/	<ul style="list-style-type: none"> ・活動記録の作成と提出 こまじめな活動の実施とそのまじめな記録の作成。 ①ボランティア活動ノートに活動先の確認印またはサインをもらう。 ②活動記録を作成し、担当教員に提出する。 	実践的活動	活動の内容や反省を記録し、ボランティア先の担当者に確認・コメントをもらうことができる。	ボランティア活動を行った後、すぐに活動内容を記録し、反省点や改善点を記述すること。	120	主体性 実行力
/	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート提出 活動内容を理解し、自分の言葉で適切に表現しまとめる こと。 ①活動体験をもとに反省点や今後の課題などを書く。 ②1200字～2000字程度にまとめる ③レポートの提出は1月末とする。 	実践的活動のまとめ	活動内容を振り返り、自身の言葉でまとめる ことができる。また、活動体験を基に、反省や今後の課題についてまとめる ことができる。	実践したボランティアが自分にとってどのような意義を持っていたかを考察する姿勢を持つこと。	120	主体性 実行力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性
ストレスコントロール力

